

システムエンジニア育成教育に関するアンケート調査

- 調査を実施するために、用語を以下のように区分し、質問をおこなっていきます。

- ・システムエンジニア

おもに受注決定後、システムアーキテクトの策定したシステム概要を、顧客との詳細打ち合わせ等を通じてさらに細分化し、実際のプログラム開発をするための仕様書に展開する。大・中日程計画を管理する。プログラマが作成したプログラムを連結し、連動テスト・総合テストをおこなう。従来から一般的にSE等と言われている分野。「セールスエンジニア」は除く。

- ・プログラマ

システムエンジニアが策定した仕様書に基づき、プログラムの作成・単体テスト等をおこなう。小日程計画を管理する。

- 質問項目は、統計的に処理をおこなう上で必要な項目です。学校や個人名を特定するものではありませんので、最初にご回答のほどよろしくお願ひします。
- アンケートにご協力をいただきました学校（先生）には、今回のアンケートの集計結果を取りまとめた報告書を送らせて頂きます。
- お忙しい中大変恐縮ではございますが、締め切りを12月3日とさせて頂いております。ご協力頂ける学校様は必要事項を回答用紙にご記入の上、集計を担当いたします全国専門学校情報教育協会までFAX（03-5332-5083）にてご返送頂きますようお願い申し上げます。また、メール等でのご返信は同協会のホームページ(www.invite.gr.jp)から回答用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上担当までご返送頂きたくお願ひ申し上げます。

システムエンジニア育成教育に関するアンケート項目

【貴校について】

1. 学校の規模（入学者数）
① ～40人 ② 41～80人 ③ 81～120人 ④ 121～150人
⑤ 151～200人 ⑥ 201～500人 ⑦ 501～1000人 ⑧ 1001人以上
2. システム開発をおこなう学科・コース名及び学生数をご記入ください。
3. 教員数（専任教員と非常勤講師を含めたおよその数で構いません）
4. 貴校の所在地
① 北海道 ② 東北 ③ 関東 ④ 甲信越 ⑤ 北陸 ⑥ 東海
⑦ 近畿 ⑧ 中国 ⑨ 四国 ⑩ 九州 ⑪ 沖縄

【あなたについて】

5. 職位
① 理事・校長 ② 部長職 ③ 学科長 ④ 教員
6. 年齢
① ～35歳以下 ② 36～40歳 ③ 41～45歳 ④ 46～50歳 ⑤ 51～55歳
⑥ 56～60歳 ⑦ 61～65歳 ⑧ 66歳以上
7. 貴校での勤務歴
① 5年未満 ② 5～10年 ③ 11～15年 ④ 16～20年 ⑤ 21～25年
⑥ 26～30年 ⑦ 31年以上

【教育について】

【質問-1】 貴校ではシステムエンジニア育成教育の必要性を感じていますか。

- 1) 強く感じている 2) 感じている 3) そうでもない
- 4) 感じていない 5) 判らない

【質問-2】 貴校ではシステムエンジニア教育を実践していますか？

- 1) 実践している 2) 一部の学科で実施している 3) 実施していない 4) 判らない

【質問-3】 質問-1で「強く感じている」または「感じている」とお答えの方で、質問-2で「実践していない」お答えの方のみ質問します。

必要性を感じながらも、教育を実践できない理由は何ですか。具体的に御記入ください。
また、その場合カリキュラムの中心となる科目はどのようなものですか。

(質問はここまでです。ありがとうございました。)

【質問-4】 質問-2で1) または2) とお答えの方に質問します。

どのような特徴をもったシステムエンジニア人材育成をおこなっていますか。

【質問-5】 システムエンジニア育成教育は何年課程の学科で実施していますか。

【質問-6】 システムエンジニア育成教育にかかる総時間数は何時間ですか。

【質問-7】 システムエンジニア人材育成の具体的な到達目標はどのレベルに設定していますか。

【質問-8】 システムエンジニア教育のうち、データベース・ネットワーク等のスペシャリスト教育ではなく、システム設計や構築運用管理等のプロダクトマネジメントを範囲とするカリキュラムはどのようなものを用意していますか。

【質問-9】 システムエンジニアとして、到達目標としている検定(資格)試験は何ですか。

【質問-10】 システムエンジニア人材育成のための教員はどのように調達していますか。

- 1) 企業等での経験者を教員採用し担当させる。
- 2) 大学等での研究者を教員採用し担当させる。
- 3) 学内教員に研修を受けさせ担当させる。
- 4) 過去に企業でシステムエンジニアを経験した事のある者を非常勤講師採用し担当させる。
- 5) 現役のシステムエンジニアを非常勤講師として採用し担当させる。
- 6) その他 (具体的に: _____)

【質問-11】 システムエンジニア育成教育の際に利用している手法(モデル)は何ですか。

具体的な名称を御記入ください。また、それらに関する教材はどのように調達していますか。

(モデル) (教材調達方法)

【質問-12】 システムエンジニア育成教育でインターンシップをはじめとする企業連携をおこなっていますか。おこなっている場合には具体的な総時間数と内容を御記入ください。

- 1) おこなっている (時間数) (具体的内容)
- 2) おこなっていない

【質問-13】 対象となる学科の就職率はおよそ何パーセントですか。

全 体 _____ %
そのうち、学科の学習内容に沿った職種 _____ %

【質問-14】 地元の I T企業に就職するために必要な知識・技術は何ですか。

【質問-15】 上記知識・技術はどのレベルまで習得が必要とお考えですか。

【質問-16】 上記知識・技術の習得に対して、貴校ではどのような授業を実施していますか。

【質問-17】卒業時に学生は、上記知識・技術をそのレベルまで習得できていますか。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1) ほぼ習得している | 2) 8割程度習得している |
| 3) 半分程度は習得している | 3) あまり習得できていない |
| 4) マッタク習得できていない | |

【質問-18】分散開発を前提とした授業を導入していますか。

- | | | | |
|-----------|----------|------------|---------|
| 1) 導入している | 2) 導入検討中 | 3) 導入していない | 4) 判らない |
|-----------|----------|------------|---------|

【質問-19】質問-18で1)または2)とお答えの方に伺います。

分散開発のために必要となる設計書・指示書などのうち、具体的に作成演習をおこなっているものは何ですか。

【質問-20】授業の中でPBL(問題解決型授業)は取り入れていますか。取り入れている場合、どの程度時間をかけていますか。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1) 取り入れている
(具体的内容) | 2) 取り入れていない |
|-----------------------|-------------|

【質問-21】PBLはどのようなスタイルでおこなっていますか。(チームの構成人数, 時間, 等)

人数 _____人程度 時間 _____分程度 その他特徴

【質問-22】PBLの到達目標はどこに設定していますか。

【質問-23】実際のシステムエンジニアリング作業を進める際に必要となる「プロジェクト」型の授業を導入していますか。

- | | |
|------------|----------|
| 1) 導入している | 2) 導入検討中 |
| 3) 導入していない | 4) 判らない |

【質問-24】質問-23で1)または2)とお答えの方に伺います。

それは、どのようなテーマで、チーム当たりの人数・時間数をかけておこないますか。

テーマ 人数 _____人程度 時間 _____分程度

【質問-25】システムエンジニアに要求されるスキルとして、「ヒューマンコミュニケーション力」があります。このスキルを身につけるためにどのようなカリキュラムを導入していますか。

【質問-26】問題解決のための発想力を身につけるためにどのようなカリキュラムを導入していますか。

【質問-27】システムエンジニア育成教育を实践するうえで、お困りの点がありましたら御記入ください。

【質問-28】一般的に教育に関して困った点が発生した場合どのように解決しますか。

(質問は以上です。ありがとうございました。)